

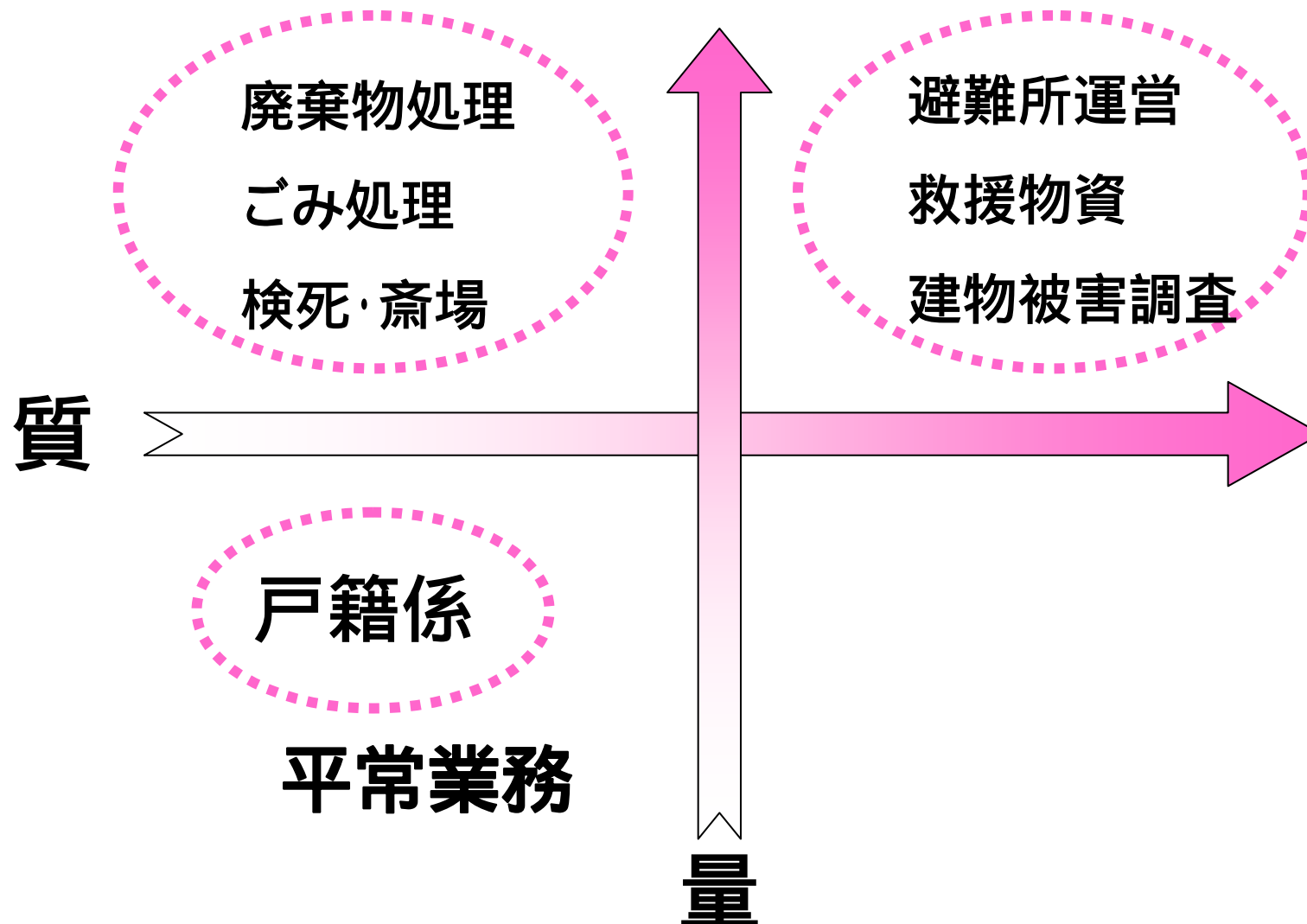
# 災害発生時の自治体の初動対応

2008.1.18

富士常葉大学 重川希志依

# 災害時における行政対応業務の変化

## 質の変化, 業務量の変化



# 発災時の災害対応業務



発災



生命・財産を守る  
(災害緊急対策)



救助, 救急, 消火, 避難誘導, 医療etc

(災害対策基本法、消防法、警職法など)

被災者の生活維持  
(災害応急対策)



応急的な衣食住確保(避難所, 水・食料など), 医療・教育の継続etc

(災害救助法)

生活再建・復興  
(災害復旧・復興対策)



すまい, 家計, 経済, まちなみ, 公的社会資本etc

(被災者生活再建支援法、融資・利子補給等  
制度)



### 人命・財産保護

災害対策基本法  
消防法，警職法など

救助，救急，消火，避難誘導，医療など

### 未知の領域

#### 被災者救助業務

災害救助法など

避難所，物資供給，住宅の応急修理，仮設住宅，資金貸与，埋葬など

#### 被災者生活再建支援業務

被災者生活再建支援法など

住宅再建，家計・経済立て直し，新たな暮らしへの適応など

### 自治体災害対応現場での課題

- ・発災後の災害対応業務プロセスが描かれていない
- ・個々の業務に関する具体的な業務遂行シナリオがない
- ・現場対応に必要な具体的事務処理手順が明確でない
- ・個々の制度の連関ならびに統一的視点に立った業務目標が描かれていない
- ・平時とは異なる質・量の業務と日常業務継続のための人的資源配置体制が確立されていない 等

# 新潟県中越地震小千谷市の最初の3日

発災

いのち

くらし

再建

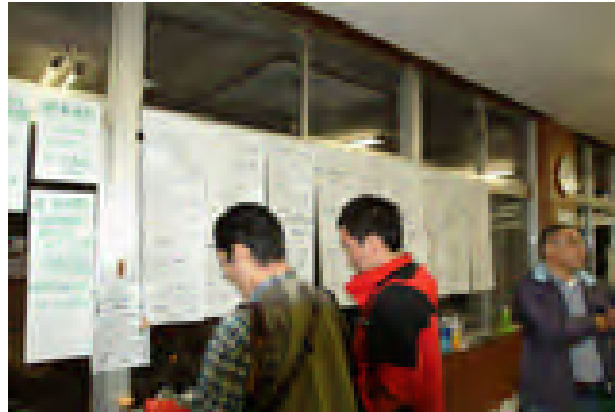


押し寄せる救援物資



情報収集・県への報告

マスコミ対応



➡ 最初の3日、本来やるべき業務がまったく手につかず

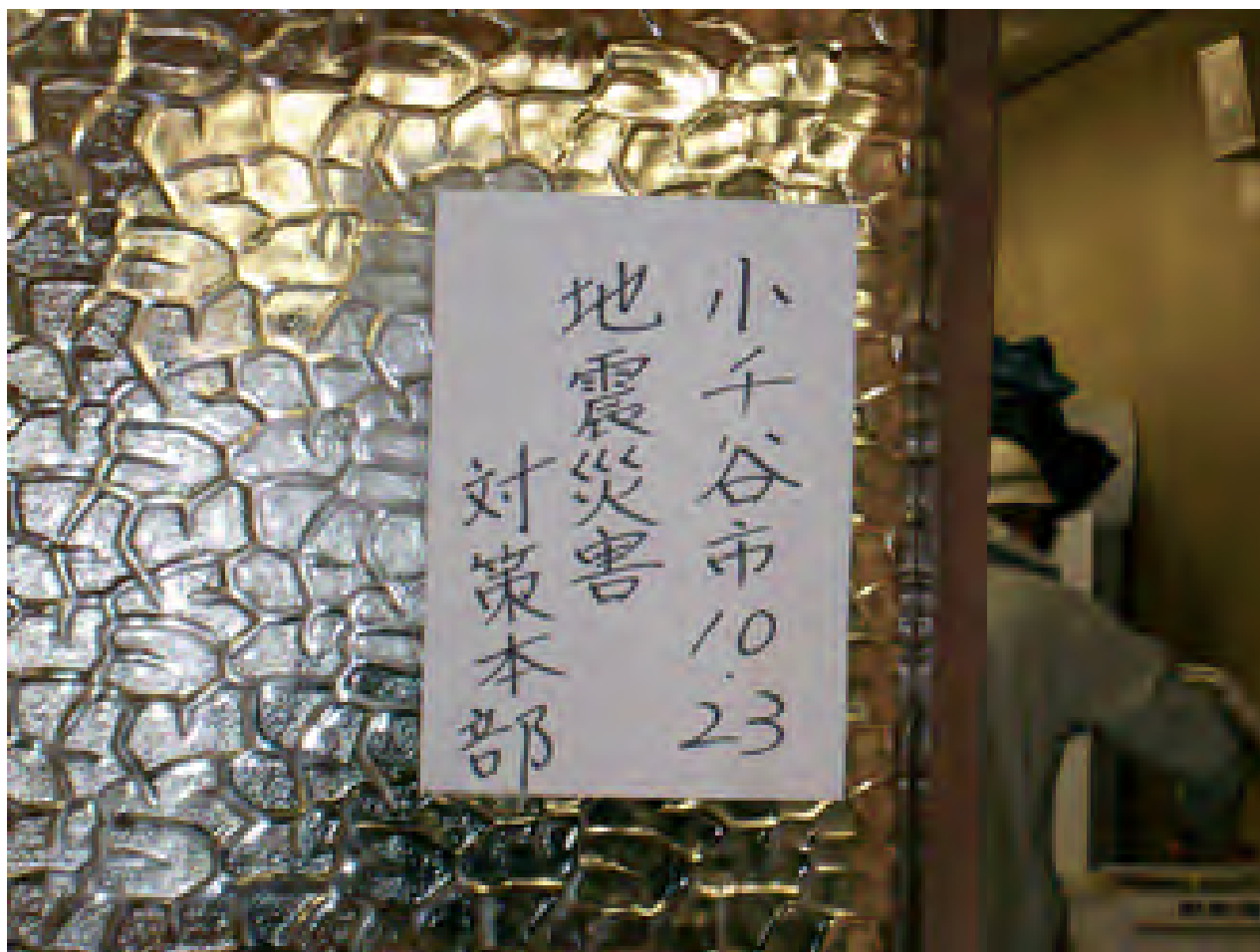
# 消防署前に災対本部たちあげ(18:40)



- ・余震が強く庁舎内に入れない
- ・消防署前にテントを張って本部とする

# 1. 場所の確保

## 市役所食堂に本部移転(21:30)



- ・消防署前テントでは電話もない
- ・市民からの電話などは全て市役所に入る
- ・災对本部になるような空き部屋は一つもない
- ・1階食堂に什器備品を持ち込み開設

# 押し寄せる救援物資





## 2. 機能の確保

2004年10月25日 15:30頃の小千谷市災害対策本部





**3. 情報手段の確保 10月25日小千谷市役所災対本部**



2004年10月25日 15:30頃の小千谷市災害対策本部に  
張り出してある情報



2004年10月25日 15:30頃の小千谷市災害対策本部に張り出してある情報の詳細(道路状況)



2004年10月25日  
15:30頃  
小千谷市災害対策本部に張り出してある  
情報の詳細  
(避難所一覧)

市役所駐車場はマスコミの車に占拠され、緊急車両や被災者の駐車スペースが確保できなかった

10月25日小千谷市役所前駐車場



# 災害発生2－3日後の災对本部の 情報ニーズ

- 家屋状況
- けが人状況
- 道路状況：救援物資・人員の運搬
- 避難所一覧：救援物資（食事・水など）の配給
- 仮設トイレの配置
  
- マスコミへの対応
- 応援職員の配置
- 避難所の運営

# 能登半島地震の初動対応







輪島市災害対策本部

**定時記者会見実施**

**災对本部にマスコミを  
入れない**

# 石川県の対応

- 3月30日 輪島市から石川県に電話「助けてほしいんです」
- 4月3日～ 石川県職員ならびに石川県内市町職員  
応援派遣開始
- 石川県現地災害対策本部の設置
- 輪島市災害対策本部合同会議開催(毎日定時)
- 各種制度の説明会



**輪島市災害対策本部合同会議**  
**(毎日19時～)**

# 国の対応

- 3月25～26日 政府調査団の現地派遣(防災担当大臣団長)
- 3月25日～ 現地連絡対策室設置(輪島市役所3F)
- 3月27日 防災担当副大臣視察
- 4月2日 衆議院災害対策特別委員会視察
- 4月13日 安倍総理視察



輪島市役所3階に設置

地震・大規模火災等に関する政府調査団名簿

平成19年2月25日(日)

番号	官 庁	職 名	氏 名
1	内閣府	防災担当大臣	菅 義 偉
2	内閣府	大臣秘書官	菅 義 偉
3	警察庁	国家公安委員長秘書官	菅 義 偉
4	内閣府	大臣副官	菅 義 偉
5	内閣府	大臣官房副官(防災担当)	菅 義 偉
6	内閣府	政策統括官(防災担当)付企画官	菅 義 偉
7	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付	菅 義 偉
8	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付	菅 義 偉
9	内閣府	副長官補(安全保障・危機管理担当)付参事官補佐	菅 義 偉
10	防衛省	運用企画局参事官付総務課長補佐・災害対策室長	菅 義 偉
11	防衛省	統合幕僚監部運用第2課2係	菅 義 偉
12	防衛省	陸上幕僚監部運用支援課3係	菅 義 偉
13	警察庁	警備局警備課災害対策室長	菅 義 偉
14	警察庁	警備局警備課災害対策室課長補佐	菅 義 偉
15	防衛省	大臣官房参事官	菅 義 偉
16	消防庁	防災課災害対策官	菅 義 偉
17	文部科学省	文部施設企画課施設企画課防災関連課防災官備中係長	菅 義 偉
18	厚生労働省	社会・援護局総務課災害救助・救護対策室長補佐	菅 義 偉
19	農林水産省	経営局経営政策課災害総合対策室長	菅 義 偉
20	国土交通省	河川局防災課課長	菅 義 偉
21	気象庁	地震火山部地震津波監視課課長	菅 義 偉
22	海上保安庁	警備救難部環境防災課防災対策官	菅 義 偉
23	国土院	関東地方測量課課長	菅 義 偉
24	経済産業省	原子力安全・保安院電力安全課長	菅 義 偉
25	環境省	廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課課長第二係長	菅 義 偉

# 国の対応

- 被災市町で発生している課題の把握，ニーズの把握を積極的に実施
- 厚生労働省 災害救助法，住宅応急修理制度のベテランを次々に派遣
- 現地連絡対策室のため，内閣府は調整のみにとどまった
- 内閣府 災害応急対策担当企画官，参事官補佐，防災無線担当

# 阪神・淡路大震災時の災害対応

## 質・量ともに想像のつかない世界

- あらゆる防災の仕事が民生局に降ってきた。
- 何をやるにしてもすごい量。食料は毎日20万食、罹災証明は50万件。
- 体力も精神力もぎりぎりの状態で、なおかつ初めて経験する仕事を、しかも全市的に大量にこなす
- 日常業務をこなしながら良くやれたなという思い。
- 障害者、高齢者、児童、本来の業務が手遅れに。

# 業務の質の変化, 量の変化に対応するためには・・・



## 事前におすすめのこと

災害のプロセスの理解

自らの役割認識

具体的な業務手順の理解

そのための情報処理システム  
の準備

資源の配置計画

1) 質を理解する

2) 量进行处理するシステム  
を構築する



## 新潟県中越沖地震

### り災証明書発行のための建物被害認定調査業務

- 阪神・淡路大震災 新潟県中越地震 能登半島地震 新潟県中越沖地震
- 過去の災害対応業務のノウハウの蓄積が引き継がれた
- 発災直後から必要となる災害対応業務プロセスが理解されていた
- 対応に必要な情報を選択的に収集すればよかった

# 発災翌日から本格的な対応スタート



# 発災翌日から本格的な対応スタート



# 初動期における情報活用

- 混乱は不可避

1. 情報が入らない / 伝えられないために発生する混乱
2. たとえ情報が十分入手できたとしてもそれに対応できない混乱

- 平常時 = 戦略を立てておく

- 発災時 = 戦術を組み立てるための情報収集